



校長室だより No. 5 (令和2年9月18日)

2学期も元気いっぱい、笑顔いっぱい!

ことのほか暑い日が続いた夏休み、もっと休みたかったという子どももいましたが、それぞれにご家庭で過ごした思い出をもって、全員元気で2学期に臨んでくれたことを大変うれしく思っています。教職員は、8月の中旬に学校閉庁期間を取り、まとまったお休みをいただきましたが、それ以外の期間で、学習評価や自立活動に関する研修、若年教員研修や免許取得のための認定講習、人権に関する研修や防災などの課題別研修など多くの研修と、1学期の評価と2学期以降の学習計画などに取り組み、パワーアップを図っています。2学期スタート後、早々に台風10号の影響で臨時休校もありましたが、新型コロナウイルスの感染の状況を見ながら、これまで控えていた校外学習や実習を始め、1年で一番長くて、充実した学習ができる2学期にしていきたいと子どもも教職員も張り切っています。



これから秋・冬にかけて、体調管理も難しくなります。またインフルエンザの時期もやってきます。今後の感染症の状況を予測することはなかなか難しいですが、学校が安心・安全に学習できる場となるよう、細心の注意を払いながら取り組んでいきたいと考えています。保護者、ご家族の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

通知表(1学期の学習評価)について



2学期が始まり、1学期の学習評価(通知表)と

2学期以降の学習についてお知らせする懇談を各校で実施しています。今年は、臨時休業が5月下旬まで続いたこともあり、学年始めの懇談の機会が十分に持てなかったため、今回新しい様式の「個別の指導計画・通知表」で、お子さんの今年度の学習の目標や学習内容、指導や支援の手立てと合わせて、1学期の学習の様子やそこで身に付いた力、2学期以降の学習の予定などについてお伝えさせていただきます。

若草では、学習指導要領の改訂を踏まえて、全てのお子さんの心身の調和的発達を目指し、国語や算数・数学といった教科の学習を取り入れ、その基盤づくりとして障害による学習上、生活上の困難の改善、克服に向けた自立活動の指導の充実を図ることとしています。教科学習では、長期目標を踏まえながら、発達段階やこれまでの学習の履歴を十分踏まえて、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の3つの観点で目標を立てることとしています。

また、通知表を年間2回とし、学期の終わりまでしっかり授業で取り組んだことを、一人一人の目標に照らし合わせて評価し、「できる、できない」だけでなく、「何故できた」「何故できない」をしっかりと検証し、次の学習の内容や手立ての改善などに繋げていきたいと考えています。その学習の積み上げのサイクルが分かるように新しい「個別の指導計画・通知表」の様式を作っています。(準ずる教育課程の教科の場合は、学期ごとの評価もしています。)

お忙しいとは思いますが、どうか懇談にお出でいただきますようお願いいたします。

送迎時の交通安全をお願いします!



秋の交通安全週間が行われていました。

若草のどの学校も、朝夕の保護者の送迎や、下校時の放課後等デイサービス事業所の送迎車が多くなっており、学校周辺の住民の方から苦情をお受けすることもあります。

送迎の際は、少し時間に余裕を持っていただき、学校敷地内はもちろんですが、特に学校周辺道路では徐行や一旦停止による左右確認などをよろしくお願い致します。

★本校：ハーベストの交差点からハウス沿いの直進道路は20km/hの徐行、四叉路での一旦停止を!

本校：教育実習生を受け入れました

本校では、今年も9月7日から2週間、教育実習生2名を受け入れました。高知県出身者で、特別支援学校の教員免許の取得のため、本校での実習を希望してくれました。

他所ではコロナのために教育実習を受け入れることができない学校もあると聞いていますが、実習生には2週間前から県内に滞在し健康観察をして実習に臨んでもらいました。若草の子どもたちと過ごし、たくさんの発見や学びがあったとのこと。近い将来、ぜひ高知県の特別支援学校で活躍する先生になって欲しいと応援しています。